

# 採点規則情報

## NO.3

FIG 採点規則「青字修正・追加」抜粋版

新体操女子審判部

平成 25 年 4 月 4 日

## FIG 採点規則「青字修正・追加」抜粋版

2013 - 2016FIG 採点規則集に、FIG より追加・訂正事項が出されました。(3月)

英語原本は、FIG 公式サイトの Rules からご確認いただけます。

以下、原本中の「青字」訂正部分の抜粋です。原本赤字部分は、日本語版は黒で入っています。原本は、修正の関係で、P16 から増えており、日本文と 1 ページずれています。下記ページは、日本版対応です。

青字の内容は、国内大会で採用いたします。

### 【青字抜粋】

















- ① P3 1.4.1 ストップウォッチは、選手の動き始めに、または団体の最初の選手の動き始めに押され(動きなしでの4秒より長くない短い音楽のイントロダクションは許容する)、選手の動きが、または団体の最後の選手の動きが完全に終わった時点で止められる。
- ② P5 4.2.2. 手具が落下して演技面外へ出た場合、もしくは使用に適さない(大きな結び)場合、予備手具の使用は許可される：
  - 実施審判(E)による減点:手具を演技面外に喪失したことに対して(距離に関係なく) / 使用不適格な手具 0.70
  - コーディネータージャッジより減点:手具が演技面から離れたことに対して 0.30 点
  - 線審:手具が演技面を超えたことに対して1本の旗を揚げなければならぬ;採点票に減点を記入し、コーディネータージャッジに渡すこと。
- ③ P8 1.1.3 マルチプルローテーション難度(ピボット)
  - 全てのピボットは1難度としてカウントする
  - 2個またはそれ以上の異なる形を伴ったピボット
  - 踵の支持なしにつなげる
  - 計算:最初のピボットの基本価値+2つ目のピボットの基本価値(各形において最低限の基本回転に技術的欠点・ホップまたは中断がなく実施された場合のみ)。つなぎに対してのボーナス加点なし。
- ④ P10 1.1.10 転回や回転といった身体の回転要素、立位または床上での身体全身の波動(難度表にないもの)は、難度の前後に加えることができる。その条件は、わずかな中断もなく、難度に直結するまたは難度の直後に実施することである。これらの場合 (R)と (S)のシンボルは、難度のシンボルの前と/または後ろに書き加える。価値:0.10+ 難度要素価値

## FIG 採点規則「青字修正・追加」抜粋版

























### ⑤ P10 1.3 手具の基礎技術とその他のグループ

- 演技の中には、手具の基礎技術グループを**優位**に取り入れなければならない  
(50%を超えて)
- D 審判による**減点**：基礎技術グループ優位性の欠如 0.50 点
- 手具の技術要素に限度はないが、**身体**の**難度中**に同じものを実施することはできない（ただし、ジャンプ／リープのピボット中は除く）。

### ⑥ P11 1.3.1. 各手具の基礎技術グループとその他の技術グループ一覧

手具	手具の基礎技術グループ群	その他の手具の技術グループ
U	 ジャンプにてロープをくぐり抜ける ロープは前方、後方、または側方に回す	 回しのシリーズ(最低3回)、ロープは2つ折り  開いた状態で1回転、ロープを伸ばして、真ん中もしくは端を持って
	 シリーズ(最低3回)での小さなホップにてロープをくぐり抜ける、ロープは前方、後方、または側方に回す	 小さな投げと受け
	 “エシャッペ”； らせん	
O	 身体全体または身体の一部をフープにくぐらせる	 身体の全てまたは一部がフープを超える
	 身体上の最低でも2部位によるフープの転がし  床上でのフープの転がし	 小さな投げと受け
	 手の周りでの回しのシリーズ(最低3回)  身体の一部での自由な回し	
	  フープの軸回し： <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 指の間での自由な1回転</li> <li>▪ 身体の一部上での自由な1回転</li> <li>▪ 床上での回転のシリーズ(最低3回)</li> </ul>	
 身体上の最低でも2部位によるボールの転がし  床上でのボールの転がし	 <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ ボールの“フリップオーバー”要素</li> <li>▪ ボールの周りでの片手／両手の回転</li> <li>▪ 補助付きの小さな転がしのシリーズ(最低3回)</li> <li>▪ 床上のボールの上を身体で転がる</li> </ul>	

## FIG 採点規則「青字修正・追加」抜粋版















	<p> つき:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 小さなつきのシリーズ(最低3回)</li> <li>▪ 1つの高いつき</li> <li>▪ 身体の一部によるつき返し</li> </ul>	<p> 小さな投げ<u>と</u>受け</p>
	<p> ボールの8の字 腕の動き(回し)と胴体の大きな動きを伴う</p>	
	<p> ボールの片手受け</p>	
	<p> 風車:クラブの最低4つの小さな回転を、時間を遅らせて交互に、手首/手をクロスしたり開いたりして</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 1本または2本のクラブによる身体の一部上または床上での回転</li> <li> 1本または2本のクラブによる身体の一部上または床上での転がし</li> <li>▪ 身体からの1本または2本のクラブのつき返し</li> <li>▪ “滑らせる(スライディング)”の動き</li> <li>▪ 打ち</li> </ul>
	<p> 2本のクラブによる小円のシリーズ(最低3回)</p>	<p> 1本のクラブによる小円のシリーズ(最低3回)</p>
	<p> 2本のクラブによる非対称の動き、クラブは異なる形または大きさ異なる面または方向の両方を伴わなければならない</p>	<p> 1本のクラブによる小さな投げ<u>と</u>受け</p>
	<p> 2本のクラブによる小さな投げ<u>と</u>受け、クラブは同時または次々と回転を伴って投げる</p>	<p> 2本のクラブによる投げ/受け、同時に</p> <p> (↑) 2本のクラブによる非対称の投げ</p> <p> “滝状”の投げ<u>受け</u>(ダブルまたはトリプル)</p>
	<p> らせん(4-5の輪)、間がつまっいて同じ高さで</p> <p> 床上でのらせん</p>	<p> “ブーメラン”</p>
	<p> 陀形(4-5の波)、間がつまっいて同じ高さで</p> <p> 床上での陀形</p>	<p> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 手の周りでのスティックの回転の動き</li> <li>▪ 身体の一部上でのスティックの転がし</li> <li>▪ 身体の一部上からのスティックのつき返し</li> </ul>
	<p> リボンの形の中をくぐり抜ける、または上を超える</p> <p> “エシャッペ”</p>	
	<p>注意:受けから直接に転がす。この転がしはフープとボールの基礎要素として数えられる。</p>	

## FIG 採点規則「青字修正・追加」抜粋版

### ⑦ P12 1.3.4. 手具の静止








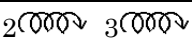




















- 手具が片手／両手によって固定または挟んだ状態
- 1つより多い身体の動作中に、身体のあらゆる部位にて固定または挟んだ状態で保持されている
- 手具が難度の準備動作、難度中、または2つの連続した難度において保持されている
- 手具の飾りとしての使用（個人と団体）：独創的に、芸術的に、かつ異なる構成的要素として実施することが可能であり、これらの要素はとても短く、手具の動きの連続性を欠くことなく行うことが条件である（各構成において最高3回まで、かつ身体の動きは4動作を超えない）。
- 実施（E） 審判より減点：手具の静止または許可されていない手具の飾り要素 **0.30 点**

### ⑧ P13 1.4.4 $R$ の追加基準一覧

追加基準 $R$	
	身体の回転軸の変更、手具が空中にある間、または受けながら
	視野外での投げ/受け
	手以外での投げ/受け
	高さの変更（ <b>2つの高さ：空中/立位と床上</b> ）
	手具をくぐり抜けながらの投げ/受け
手具の特殊な投げ	
	手具の軸回しを伴って；水平面、垂直面
	斜めの面
	2本のクラブによる投げ <b>受け</b>
	2本のクラブによる非対称の投げ ロープ/クラブのミックス受け ジャンプ中の脚の下からの投げと／または受け
	クラブ：滝状の投げまたは連続した投げ
	開いた状態のロープ
手具の特殊な受け	
	転がしながらダイレクトに受ける
	投げ返し/つき返し
	回しながらダイレクトに受ける




## FIG 採点規則「青字修正・追加」抜粋版

⑨ P14 1.6.3. マステリーの基準：例

	視野外
	手（両手）以外
	ジャンプ／リープもしくはスキップ／ホップ中に  /  の二重回し クラブ（2本のクラブ）が空中にある間の早い回し
	身体の回転を伴って
	最低2か所の異なる身体の部位による、手以外での持ち替え
	身体の異なる部位での手具の2～3回の大きな転がし  ,  ,  , 
	床上にて、身体の異なる部位上での大きな転がし
	身体上にて転がしながらのダイレクトな受け  ,  , 
	手具をくぐり抜けながらのダイレクトな受け  , 
	フープを回転させながらのダイレクトな受け
	2本のクラブでの非対称の投げ／ミックス受け  , 
	脚の下からの投げ／受け
	リープ／ジャンプもしくはスキップ／ホップ中の腕の交差
	投げ返し
	開いたロープの投げ、ロープは張った状態で

注意：上記の追加に関して、#1.4.4.にある“手具の特殊な投げと受け”の基準をマステリーに使用することもできる。

⑩ P16 1.9.1.3. どのジャンプ／リープも片足または両足踏切りが可能である；この場合、難度価値は同じであり、更にこれらのジャンプは同じ難度とみなされる(#9は除く)

⑪ P19 1.9.3.2. 例(最初の形がベース価値を決める)： ↓ 軸足を徐々に曲げていく； ↑ 軸足を伸ばしていく； ↓ ↑ 軸足を徐々に曲げ、更に伸ばした位置へ戻す \*青ではありませんが、訂正されています。

⑫ P22 2.3 実施減点（芸術と技術）

技術	不正確な受け、または片手あるいは身体を添えての受け、そのことにより手具の軌道が変更される	手具の静止** または許可されていない手具の飾り要素	
----	--	----------------------------	--

⑬ P24 \*\* 手具の静止（個人競技 #1.3.4 参照） \*減点表の下に追加

## FIG 採点規則「青字修正・追加」抜粋版

[団体]

### ⑭ P25

3.1.3. 演技の終了時は、各選手は手具を保持、あるいは1つまたは数個の手具と接触していてもよい。この場合、1名または数名の選手は最後のポジションで手具なしとなる。

- 実施審判より**減点**：0.30 点、最後のポジションにて。5名全ての選手が手具との接触を欠く場合

注意：3.1.1 ~ 3.1.3 は関係にも関係する。

⑮ P27 1.1.2.6. 交換中に1個または数個の手具が落下した、または衝突した場合、その交換は価値を失う。

⑯ P27 1.1.2.7. 以下の要素を手具の投げの最中と／または受けの最中に実施することは、交換の価値を各0.10点ずつ上げることとなる：

- 距離：6メートル（→6）投げの最中と／または受けの最中に（構成の一部として実施された場合）
- 座位での受け：(≡) 選手は先に座位にならなければならない、また受けの際は移動してはならない
- 2本のクラブの同時投げと／または受け(↗)
- 投げと／または受けを視野外にて行う(⊗) または手の助けなしに行う(⊕)
- 手具が空中にある間に1つの回転要素（難度ではない）を実施(↓)
- 投げ返し(↕)

⑰ P27 - 28 1.4. 選手間での連係を伴った身体の回転を伴うまたは伴わない要素（最低6つ）

- 難度審判（D）より**減点**：連係を伴った要素の各欠落0.30点（交換への追加）
- 連係要素は、以下の1つまたはそれ以上の**重大な技術的ミス**なしに行われた場合、評価される：
  - 連係中の手具の落下、1本または2本のクラブを含む
  - 連係中にバランスを失い片手（両手）または手具にて支える、または転ぶ
  - 1名または数名の選手または手具が4動作より長く（4秒より多く）明らかに停止している

## FIG 採点規則「青字修正・追加」抜粋版

- 数人の選手の実施ミスにより、結果的に連系の構成が大きく変更した
- 不正確な軌道により、3歩またはそれ以上の移動を伴って手具を受ける

### ⑱ P29 1.4.5.選手間の連係を伴った要素の基準と価値

	C				2個(4本のクラブ)またはそれ以上の手具での投げ ・同じ選手が同時にまたは次々と連続して(最大2回)
--	---	--	--	--	---

### ⑲ P33 \*選手(たち)の静止：個人競技#2.3 参照 \*実施減点の表の下に追加

- ~~選手が手具と接触していない場合に、選手は静止(停止)してはならない(例：投げ、床土での転がし、など)~~
- ~~連係中に1名または数名の選手が4動作(4秒を超えて)を超えて、明らかに静止している~~

### ⑳ P34

技術	不正確な軌道、1、2歩移動して空中で取る(各選手)	不正確な軌道、3歩またはそれ以上移動し空中で取る(各選手)	
	不正確な受け、または片手あるいは身体を添えての受け、そのことにより手具の軌道が変更される	手具の静止** (各選手) または許可されていない手具の飾り要素  連係中に1個または数個の手具が4動作を超えて(4秒を超えて)固定されている	

### 21 P36 \*\* 手具の静止：個人競技#1.3.4.参照 \*実施減点の表の下に追加

### ㉑ P37 個人競技及び団体競技でのコーディネータージャッジによる減点

1	音楽の長さ、長短に関わらず各1秒につき	0.05
2	規則に反した音楽	0.50
3	<del>動きなしにて4秒を超えた音楽のイントロダクション</del>	0.30
4	手具、片足、両足、または身体の一部が、既定のラインを越えて床に触れた場合、または手具が演技面より出た場合とその手具が戻ってきた場合	0.30
5	個人選手または団体の各選手が演技面を変更した場合、または演技を場外で終了、または演技中に演技面を離れる	0.30
6	規定外の手具の利用(個人競技、団体競技とも)	0.50
7	既定数を超える予備手具の配置	0.50
8	規定外の手具の取り戻し	0.50
9	規定外の予備手具の利用(もとの手具は演技面に残したまま)	0.50
10	個人または団体選手の服装違反	0.30
11	国(所属)マークや広告が公式規則に反している場合	0.30



## FIG 採点規則「青字修正・追加」抜粋版

12	包帯またはサポーターが規則に反している場合	0.30
13	選手（達）の早すぎる、または遅すぎる入場	0.50
14	選手（達）の競技会場でのウォーミングアップ	0.50
15	団体選手が演技中に声によるコミュニケーションをとった場合	0.50
16	競技会を遅延させる遅すぎる演技への準備	0.50
17	演技中にコーチが選手、伴奏者、または審判と連絡をとった場合	0.50
18	団体選手が演技中に団体から離脱する	0.30
19	正当な理由により選手が団体から離脱し”新しい選手を使用”する	0.50
20	規定外の団体演技の演技面への入場	0.50